



横浜市こどもの美術展 2012

7月28日(土)～8月2日(木)
横浜市民ギャラリー1～3Fにて開催

元気な子どもの作品 3227点と充実のワークショップ!

作品展示、会場の管理や案内など、
中学生・高校生を含めたボランティアが活動しました



上・ボランティアの中学生たち
左・スペシャルトークの布山先生

★作品展示作業ボランティア★ 「ふんいきがあります」「よく工夫しています」といったコメントをカードに記し、作品1点1点に貼り付けていきます。たくさんの作品が集まりましたが、会場スペースの関係もあり、床上3メートルといった天井に近いような高い位置に展示された作品もたくさんありました。絵もコメントも、子どもが良く見える高さに展示されるとよかったです。(菅野隆夫)

★中高生ボランティアが大活躍★ 中学生ボランティア20名と一緒に、コメントカードを作成しました。ボランティア募集は、学校の先生からの情報やインターネットを通じて知ったそうです。「新しい体験ができて楽しかった」「美術部などで展示の裏方作業を体験したかった」「校外活動として内申書に記入したい」とのこと。「両面テープの裏紙をはがしやすくするため」と、コメントカード用の両面テープを斜めに切っている男子中学生もいて、色々工夫して作業にあたってくれました。(尾浦孝夫、米長洋和)

将来は子どもとかかわる仕事をやってみたいという高校生が何人かいて、「子どもやいろいろな方とふれあえて楽しい」「お手伝いをして喜んでもらえることが嬉しい」という声がありました。ボランティアへの参加を通じて、人の役に立つことや、感謝の気持ちをいただくことの楽しさを体験できたようです。(清水泰成)

布山タルト先生のスペシャルトーク
◆アニメーションで「コミュニケーション」(7月29日)
布山タルト/1973年仙台生まれ。アニメーション作家。東京芸術大学大学院映像研究科アニメーション専攻准教授。第7回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞をはじめ、国内外の受賞多数。
テレビのアニメはキャラクターやストーリーを楽しみますが、アニメーションは多様な素材や手法で制作し豊かな世界観を表現します。世界初のアニメーションは、黒板とチョークで顔を描きながらコマ撮りした作品とか。現在では技術レベルも進歩し、誰でも簡単にアニメーションが制作できるようになりました。今回のスペシャルトークでは、布山先生が開発されたアニメ制作ソフト「KOMI KOMI」が紹介されました。ワークショップや教育現場でのソフトの活用で、アニメーションの大きな可能性が広がっていることを感じました。(宮越寿雅子)

関連イベントも大盛況

◆「ブリボンのお絵描きバッジを作ろう！」(7月28日～8月2日)

「子どもの美術展」の期間中、ギャラリー3階の一角で子どもたちの楽しいワークショップが開かれました。私たちボランティアや保護者が手助けして、丸型の紙に自由に楽しい絵や可愛い絵を描き、革のリボンをつけて素敵なバッジを作りあげます。子どもたちは、出来あがったリボンを胸に飾って笑顔いっぱいでした。(大杉昭雄)

オススメ!

ニューアート展 NEXT 2012

動く絵、描かれる時間: Phantasmagoria

横浜を拠点に活躍する新進気鋭の映像作家、金澤麻由子と SHIMURAbros をとりあげた本展では、新作インスタレーションをはじめ、立体、水彩、素描などの出品を予定しています。インタラクティブな作品もあり、映像表現の幻想的な魅力と多様な展開の一端を体験していただける展覧会となります。

2012年9月28日(金)～10月17日(水)
10:00～18:00 (最終入場は17:45まで)
横浜市民ギャラリー 1、2階展示室
会期中無休、入場無料

詳細は横浜市民ギャラリー
ホームページをご覧ください。
<http://www.yaf.or.jp/ycag/>